

令和7年度学校経営グランドデザイン(案)

小野小・中学校
共通スローガン

めざせ！あいさつ日本一の町 小野町+@

学校経営の基本方針

「笑顔があふれ学ぶ意欲に満ちた学校」

生徒も保護者も地域も教職員も

- (1) 生徒の夢が育つ学校
- (2) 地域のよさを実感し、自信と誇りを持つ
- (3) 信頼される学校づくり
- (4) 仕事への生きがいと責任

【教師像】『生徒ファースト』を第一に！

- 使命感と倫理観のある教師
- 学び続ける教師＝アクティブラーナー
- 心身ともに健康である教師
- 一言の重みを理解している教師
- 互いに認め高め合う教師
- 生徒の声を「聴く」教師
- 積極的に「ほめる」教師
- 笑顔で挨拶ができる教師
- 指導の機会を逃さない教師
- 地域からの声に真摯に対応する教師

教育目標

夢 ~自立・友愛・健康~

- 目指す生徒像
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒

教師の願い

全ての生徒が生き生きと、
思いを込めて活動する中で、
友を思いやり、互いに信頼できる
人間関係を構築し、自分の夢
や目標を持ち、その実現を目
指してしてほしい。

地域の願い

地域の子どもと大人が交流し、
大人も子どもから学ぶなど、
学校を中心とした人づくり・
地域づくりをしたい。

保護者の願い

健康で安全な学校生活、そして
思いやる温かい心を持ち、夢を持って
学習や運動に励んでほしい。

生徒の願い

自分の夢（進路）が実現できると
共に、友と学び合い、支え合い、磨き
合い、心が通いあう、充実した
学校生活を送りたい。

重点課題

- (1) 学力・読解力の向上
- (2) 豊かな人間関係の育成
- (3) 基本的生活習慣の確立

(1) 学力・読解力の向上 学校の命は「授業」

「将来にわたって生きてはたらく学力」を！

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ② 読解力の育成
- ③ 特別支援教育の環境の充実

(2) 豊かな人間関係の育成

「学びの心」を！

- ① 心の教育・道徳教育の充実
- ② 互いに信頼できる人間関係の構築
- ③ 自己管理能力の育成

(3) 基本的生活習慣の確立

「人間力」を！

※人間力：自立した人間として力強く生きていくための総合的な力

- ① 日常生活指導の充実・凡事徹底
- ② 食育・保健・安全指導の充実
- ③ 気力（元気・本気・根気）と体力の向上

総合的な学習の時間

- 課題追究や体験学習、人や物との出会いを通して、自分自身の生き方を見つめる活動を展開する。
- 地域の素材や学習環境を生かしながら直接体験を取り入れ、活動の充実を図る。
- 話し合い活動や表現活動を積極的に取り入れる。

特別活動

- 互いのよさを認め、よりよい集団を築き上げようとする態度を養う。
- 自治的活動を通し集団の一員としての自覚・役割の大切さに気づかせる。
- 各行事では、体験活動等を通して、他との関わりを深め、豊かな人間性や社会奉仕の精神を養う。

特別の教科 道徳

- 学校教育の全ての場面において機会を捉えて指導する。
- 道徳的価値について理解を深める「考え議論する」授業を実践する。
- 多様な考えを引き出し、生かすために、思考ツールやICTを効果的に活用し、言語活動の充実を図る。

技術・家庭

- 作る喜びと達成感が持てるように、教材選択と作業時間の確保に努める。
- グループ活動を通して、能率的に学習が進められるように、工夫する。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実を図る。

保健体育

- 保健・安全の知識を身につけさせ、心身の育成に努める。
- 運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
- 仲間とともに課題解決ができるよう場の設定を工夫する。

美術

- 造形の基礎力の育成に努める。
- 個に応じた指導を充実させ、創造することの楽しさを味わえる授業に努める。
- 互いのよさを認め合い、様々な表現や見方を積極的に学ぼうとする姿勢を作る。

音楽

- 音楽の楽しさを体験させ、生涯に渡って親しんでいく態度を育てる。
- 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能や創造的な表現力の能力を高める。
- 幅広い音楽鑑賞を通して、音楽を構成する要素の総合的な理解を深める。

英語

- 「CAN-DOリスト」の共有を図り、単元を通して英語を使って「何ができるようになるのか」を明確にする。
- 個に応じた学習活動を積極的に行い、生徒の活動を重視した授業に改善する。
- 言葉の仕組みを知り、背景にある文化を理解できるようにする。

理科

- 対話的な活動と個別指導の充実を通して、基礎的な内容の定着を図る。
- 自然事象に対する興味・関心を高める課題の提示の仕方を工夫する。
- 観察実験結果をもとにした対話的な活動の充実を図る。

国語

- 教材ごとに学ぶ領域（話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項）を明確にした授業を行う。
- 主体的・対話的で深い学びになるように学習活動を工夫する。
- 個に応じて言語能力を高めることができるような読書指導を行う。

社会

- 地理・歴史・公民の各分野において基礎・基本の定着を図る。
- 一人ひとりの生徒の学習状況を把握し、わかる喜びが実感できるように工夫する。
- 一斉学習・グループ学習において学び合う楽しさを味わうとともに、多面的・多角的に考察する力を高める。

数学

- 学習形態の工夫や個に応じた指導により、基礎学力や応用力の向上を図る。
- ICTの活用等、学習方法の工夫・改善に積極的に取り組み、指導に生かす。
- 数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に説明する活動を通して、他者にわかりやすく伝える力の育成を図る。

家庭・地域・学校の「連携・協働」による 開かれた学校・地域とともにある学校

- ・授業参観（年3回＋小野中オープンデー）・学校Webで情報発信（随時）・学校だよりの発行（月1回程度）・学年だよりの発行（週1回程度）
- ・保健だよりの発行（月1回程度）・秋祭（しゅうおう）祭の公開（10月）・PTA奉仕作業（年3回・各学年）
- ・保護者と管理職が語る会（旧学校運営委員会）の開催（年3回・授業参観時）・特別支援学級入学希望保護者の見学会（9月）
- ・コミュニティ・スクールの機能を生かした学校経営・町地域学校協働本部との連携による学校行事（職場体験学習、夏井川清掃等）の実施